



# 議会だより

No. 48 2016年11月1日発行

発行責任者：南魚沼市議会議長 黒滝 松 男  
編 集：議会広報編集特別委員会

南魚沼市無形文化財 若宮八幡宮太々神楽舞

議事録等 詳細は…

南魚沼市議会

検索



平成27年一般会計決算概要・審議	2～4
平成28年度一般会計補正予算概要	4
常任委員会審査報告	5～7
一般質問 11名が市政を質す	7～11
湯沢・南魚沼・魚沼議員会要望活動	11
各委員会報告	12～13
9月定例議会の全議決結果	14～15
議会報告会	16

# 平成28年 9月議会 の概要

9月議会は9月5日より23日までの19日間の会期で開催されました。  
前年度（平成27年）の決算認定が主な議案です。  
決算の詳細は市報10月1日号に掲載されています。

## 平成27年度 一般会計決算認定の概要

【賛成20人 反対2人】で認定されました

**歳入 383億7,077万円**

前年度比  
30億1,077万円（8.5%）増

**歳出 366億8,344万円**

前年度比  
24億4,487万円 増

- ・市 税 73億1,237万円……前年度より1億5,052万円の減
- ・不納欠損額※1 1億1,202万円……前年度より19万円の増 ※1 収入未済額のうち将来にわたり納入される見込みのないものです。
- ・実質公債比率※2 15.4% ※2 健全化判断比率のひとつ
- ・自主財源比率※3 38.4% ※3 歳入に占める自主財源の比率

### 大綱質疑



**Q** 地域完結型社会の構築を目指した、6重要施策の予算の使い方をどう総括するのか。  
**A** 将来の方向性を見出すために、ほこれる成果をきちんと表した決算である。

**Q** 歳入は30億円の増であるが市税が減っている。安心できないと考えるが。  
**A** 市税は減少傾向である。固定資産税減は大きな問題である。第二期財政計画でも6.5%減少予測で組んでおり、十分認識していかなければならない。

### 一般会計

## 質疑応答

Q & Aについては、一部のみを掲載しています。

### 歳入

- Q** 固定資産税など各種の税金の滞納について、県の機構が入ってきてから差し押さえが増えていないか。差し押さえに至る経緯は。  
**A** 機構との連携は、預金を差し押さえて現金を頂くことは難しかった。公平性を担保するためにも、機構との勉強会によって身に付けるようにしている。具体的な手順としては、督促、催告、という順になる。過年のものに対しては年2回出し、予告をする。無理やりはぎ取るようなことはしていない。
- Q** 市役所での喫煙所がないのはどうしてか。  
**A** 市政ポストにて、市民の声として喫煙所の撤去が要望されたのをうけ、協議の上で撤去した。
- Q** 都市計画税の滞納分で不能欠損の部分はどうなっているか。  
**A** 支払い能力の見込みがない。
- Q** 課税対象者の推移と税収の関係は。  
**A** 人口減少も原因だが、課税義務者、とりわけ均等割り部分が大きく減っている。
- Q** 農業所得は下がったが、農業法人は13%伸びた。建設業は減少。製造業は堅調で23.4%上昇傾向。金融保険11.8%の増。サービス業は14%減少している。  
**A** これまで大型の投資事業を行ってきたが、法人税は伸びているか。業種別にはどうなっているか。  
**A** 県からの管理委託費は施設の管理費であり、運営費ではない。

いものは見極めていかなければならない。

**議会費**

**Q** 議会の活発化を念頭に置いたうえで、議会事務局の増員に対してどう考えるか。  
**A** 職員増員の要望は以前からあるが、なかなか厳しい。

**総務費**

**Q** 証明書のコンビニ発行について、どれくらいの効果があるか。  
**A** これまでに465件交付されている。マイナンバーカードの普及が進めば増えていくだろう。

**民生費**

**Q** 生活困窮者自立支援事業の実績が上がっていない。  
**A** 委託料の割には利用

が少ない。周知していく。

**Q** 在宅要介護高齢者家族手当の実績が落ちている原因は。  
**A** 対象者が何人いるのか把握していない。支給されている人と、支給対象になっっている人との数の差はある。

**衛生費**

**Q** し尿汲み取り委託料を26年度から一定額に設定している。今後の料金について業者から要望はあるか。  
**A** 年々利用者は減っているが、業者からの声はきていない。定額料金は30年度からの新施設移行までの暫定措置だ。

**労働費**

**Q** 雇用創出事業の効果はあったか。  
**A** 国の制度は起業支援、人材育成事業に移行してきたが、27年度で終了した。今後は産業振興の中で検討していきたい。

**農林水産業費**

**Q** 米の販売促進について今後の考え方は。  
**A** 高品質・良食味米の生産を基本に、より付加価値を高める取組を検討したい。

**Q** 有害鳥獣被害対策事業で、来年度に向けた集落からの電気柵のニーズはどうなっているか。  
**A** 来年度のニーズはこれから聞くことになっている。電気柵は春の設置と冬前の撤去を地元で行うため、地域の協力体制が必要。

**商工費**

**Q** 起業支援の予算は300万円であったが、決算が1件で25万円となったのはなぜか。  
**A** 期待もあり、補正予算を組んで増額したが、募集に対し条件を満たすような起業者が少なかった。

**Q** プレミアム商品券は、あ

る程度の効果があったと思う。金を循環させてこそ経済効果は生まれる。引き続きこれを生かすべきと考えがどうか。

**Q** 効果はあったが、一時的なものでも長く続くものではない。再度これをやろうとは考えていない。  
**A** 道の駅南魚沼アトス

**Q** テーションにある棟方志功先生の膨大な作品群の管理は十分か。展示の仕方によっては観光客も呼べるのではないか。  
**A** 社会教育課にいる学芸員の指導の下で管理している。今のところ道の駅内で展示作品を変えて、鑑賞してもらっている。

**土木費**

**Q** 個人住宅リフォーム事業については、作業所・車庫や店舗兼住宅も支援対象にならないか。  
**A** 基本は一般住宅であるが、店舗兼住宅等については、居住部分の面積按分で支援対象として対応している。

**Q** 見積もりは25年度のもの

作業所は対象にならない。

**Q** 道路補修工事などの要望の時、多面的機能支払交付金事業や地域コミュニティ活性化事業で対応するようにと言われることが多いが、どこで区分けしているのか。  
**A** 基本的に市道を管理するのは建設部で、優先度の高いものから順に対応している。それ以外のものは、多面的機能支払交付金事業や地域コミュニティ活性化事業での対応で回答することも多い。

**消防費**

**Q** 消防救急無線デジタル化事業費について、なぜ4,900万円の不用額が出たのか。また、この事業によってどのように変わったのか。  
**A** 見積もりは25年度のもので、その後、実際の工事では性能が良く価格も安いものがでてきたため、その分が不用額となった。

これにより、無線通話に雑音が入らず、鮮明に聞き

取れるようになった。また、盗聴ができなくなり、秘匿性が増した。

**Q** 消火栓の器具庫にある2本のホースでは、初期消火を十分に行えない場合もあるのではないかと。せめて新設の消火栓には1本増やせないか。

**A** 市内には器具庫を備えた消火栓が約1,600ヶ所あり、ホースを増やすのは予算面で難しい。新設の消火栓については、今後内部で検討する。

て、重点校では授業公開も行なっている。  
また、学校間をつないでの活用もなされ、効果を上げている。

**Q** 土曜日学習については、今年に更に拡大していると聞く。今後どのような取り組みにしていくなか。

**A** 今年から塩沢地区も含め3地区で行なっている。現状では算数・数学に特化しているが、評判は良い。今年の夏休みには英語に特化した学習を実施した。

### 教育費

**Q** 過去9年間の国際交流事業について、その効果の分析は行っているか。

**A** 英語の学力については、着実に向上していると思われるが、詳しい分析は行っていない。

**Q** タブレット端末を利用した教育が始まったが、どのように総括しているか。

**A** 27年度から本格的に、タブレットを授業に取り入れ



## 平成28年度 南魚沼市一般会計補正予算 (第4号)

第97号議案

6億6,575万円を追加して、

総額335億4,707万円に

### 主な事業

- ・庁舎改修工事費1,972万円（本庁舎一階に総合窓口を置くことになりました）
- ・ほくほく線補助金85万円（北越急行に対して沿線市町で赤字補てんの補助金を出します）
- ・介護ロボット導入補助金92万円（越南苑にベッドアラーム3台が入ります）
- ・病院事業補助金2億円（市民病院が、へき地医療対象となり国の支援が受けられます）
- ・水道高料金補助金1億1,650万円（国からの支援が減ったので市から出します）

### 質疑応答

**Q** & Aについては、一部のみを掲載しています。

**Q** 土地購入費4億5,274万円について、売り払いの見直しはあるのか。

**A** 当時の買値では売れない。今、借地料をもらっているが、価格は交渉中である。

**Q** J Aみなみ乾燥施設・精米施設補助金5億7,871万円について、補助金が半額になったか。

**A** 同じ内容で補助金は出るが、トン当たりの上限があり下がった。

**Q** 体育施設改修費2,633万円について、子どもたちのトレーニング体制も整ったから改修か。

**A** まずは、アスリートのための改修だ。小野塚彩那さんの助言を得ながら、これから体制を作る。

**Q** 中小企業信用保証料補給金300万円について、小規模事業者支援の条例はまだ作れないのか。

**A** この条例の効果があるのか内容を精査している。遅れたからといって実害はない。

# 総務文教委員会 審査報告

(9月9日)

Q & Aについては、一部のみを掲載しています。

## 第82号議案

### 南魚沼市モニターパイプ イプ条例の制定について

**Q** このモニターパイプをスムーズに運営するためには、運営委員会等の設置について条例の中に明記し、地元との協議の場とすべきではないか。

**A** この施設をオール石打丸山、オール南魚沼市地域をあげて日本一にしていきたいという志は皆同じである。特に条例に書き込まなくても、これから地元と行政と指定管理者で連絡を密に協議を行っていきたく考えている。

**A** この条例はかなり幅のある形をつくっており、利用時間については想定できる

**Q** 条例の中で利用時間が日の出からとなっている。早朝から施設管理が大変になるのではないか。

## 陳情第1号

「学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する陳情

### 反対討論

高校までが義務教育であれば別だが、中学校卒業後に就職を選ぶ人もいる。そういった人たちの税金を使うことにもなり、線引きが必要である。

### 賛成討論

現状では経済的に厳しい家庭の子どもたちも私学に行っており、支援も必要である。

## ◆賛成少数で不採択

## 陳情第2号

新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する陳情

## ◆全会一致で採択

## 陳情第3号

南魚沼市所有の駐車場について

### 反対討論

本庁舎に限らず、市の様々

## ◆賛成なしで不採択

な施設で職員から駐車料金を徴収していることは県内で先駆的であるが、金額については今後の課題である。

# 産業建設委員会 審査報告

(9月8日)

Q & Aについては、一部のみを掲載しています。

## 第81号議案

南魚沼市農業委員会の委員等の定数を定める条例の制定について

**Q** 市として、農地利用最適化推進委員の働きや意見を重要視する予定か。

**A** 農政、農地委員会では委員長は農業委員会に限定されるが、推進委員も会議に参加し審議してもらう予定である。

## ◆全会一致で可決

## 第94号議案

平成27年度南魚沼市

## 下水道特別会計決算認定について

**Q** 平成31年以降の企業会計化に向け、水洗化推進の取組はどのようになっているか。

**A** 国庫補助を利用した接続工事の実施が一番効果を見込める。

**Q** 国庫補助について、今後内示率がさらに低下する可能性はあるか。

**A** 国土交通省から財務省に予算要望はしている。財務省で最終的に予算が増額されないのが現状である。

## ◆全会一致で認定

第95号議案

平成27年度南魚沼市水道事業会計利益の処分及び決算認定について

**Q** 緊急水源について、畔地浄水場内に深井戸の水源を確保したとの記載があるが水尾の水源はどうなったか。

**A** 緊急水源の全体を見直し常用化するための再検討を実施した。その中で水尾の水源の工事は延期している。延期に伴い建設費は減少している。

**Q** 管路建設改良工事について、石綿管が4,711m残存しているが、道路改良や下水道改良の実施がなければ更新されないか。

**A** 石綿管が減少したのは布設替えにもよるが、データの見直しを実施した結果であり、過去の改良を除外したためである。石綿管は、道路改良がなくても単独で積極的に更新していきたいと考えている。

◆全会一致で認定

請願第2号

免税軽油制度の継続を求める請願

**Q** 道路整備特定財源が一般財源化された平成21年頃から制度廃止に向けて段階的に制限をして、30年度末の廃止は確実視されているがその点はどうか。

**A** 見直しについては把握していない。

**Q** スキー場の圧雪車が主な対象になると思うが、来場者数の増加と売り上げは比例しているとは限らない。売上対減免額の比率の推移はあるか。

**A** 把握していない。

◆全会一致で採択



社会厚生委員会 審査報告

(9月7日)

Q & Aについては、一部のみを掲載しています。

第86号議案

南魚沼市地下水の採取に関する条例の一部改正について

**Q** この条例のデメリットは。

**A** 市民病院建物、駐車場の消雪により市街地への影響が未確定の要素が多い。最新機器による節水を条件に協議中である。

◆全会一致で可決

第90号議案

平成27年度南魚沼市国民健康保険特別会計決算認定について

**Q** 差し押さえの実態は。

**A** 年金所得の差し押さえは行なっていない。給与については生活費相当額を残しての差し押さえを行っている。

**Q** ジェネリック医薬品の利

第92号議案

平成27年度南魚沼市介護保険特別会計決算認定について

**Q** 各介護事業所の運営状況は。

**A** マンパワー不足、サービスの低下を危惧している。市のなすべきことは、施設の現状を把握してより良い方法を模索していくこと。国県に働きかけ処遇改善等の制度改正を図っていくことである。

◆賛成多数で認定

000円の保険料が10倍以上の保険料となる。このよう方は1,601人である。

第91号議案

平成27年度南魚沼市後期高齢者特別会計決算認定について

**Q** 「特例軽減」は29年度から廃止が決まっているが、影響は。

**A** 現在、9割軽減該当者を例にすると28年度は2,691人で全体の27.7%を占める。社会保険の被扶養者の方が後期高齢者になった時、これまで年額約3,

◆賛成多数で認定

介護福祉用具の購入が実

費になるというのが今後の見通しは。

A 報道ではそうなることが言われている。国における審議段階であり、開始時期は決定されていない。

◆賛成多数で認定

第93号議案

平成27年度南魚沼市城内診療所特別会計決算認定について

Q 無床化により収入が減る中で、今後どう運営していくのか。

A 開業医のいない城内地域の拠点医療機関としての役割は大きい。市民病院、基幹病院へつなぐ地域のかかりつけ医として、内科の1次医療を担うことを考えている。

◆全会一致で認定

第96号議案

平成27年度南魚沼市病院事業会計決算認定について

Q 電子カルテ導入の効果は。

A 各種データの参照、カルテ・処方箋等の入力にも有効で利便性が大きく向上している。診療点数のめりや薬剤の多剤投与などに注意喚起が行われ、診察室と同じ対応が可能となった。

Q 今後の課題は。

A スタッフ不足が一番の課題だ。この度の医療再編で計画通り病床を開設しているのは当市だけだ。それだけスタッフには負担をかけている。1日も早くスタッフ不足を解消したい。

Q 回復期リハビリの状況は。

A 稼働率は良い。地域医療として退院前後の在宅リハビリの施設確認も始まり、充実している。回復期リハビリテーション病棟は構造上のハードルの高さ、患者数の確保ができず、すぐには立ち上げられない。

◆全会一致で認定

一般質問

- 質問順位
1. 田村 眞一
  2. 桑原 圭美
  3. 勝又 貞夫
  4. 中沢 一博
  5. 阿部 久夫
  6. 寺口 友彦
  7. 佐藤 剛
  8. 牧野 晶
  9. 岡村 雅夫
  10. 中沢 俊一
  11. 若井 達男



国保税の引き下げを

今の段階ではできない

Q 質問 「住民福祉の向上」「格差是正」という立場で国保税の引き下げを。

A 認識は。①国保世帯の苛酷な実態への認識は。②国保には医療をより必要とする年齢層が多いと考えるが。



③国保税を支払えるかどうかの視点はあるか。  
④市民の医療を受ける権利と資格証の発行は矛盾しないか。

A 市長 ①所得に対する負担感は大い。

②国保は医療需要の高い高齢者の加入率が高いのが特徴  
③低所得者に対し軽減の拡充を行っている。  
④権利には必ず義務がついて



一般質問とは…  
議員が市の一般事務について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いただすものです。

子ども医療費助成の対象を高校卒まで拡充を

高校生まで広げても子育て世代は喜ばない

Q 質問 ①子ども医療費助成の評価は。

A 市長 ②県内の多くの自治体では実施しているが。①子育て世代から高い評価を得ている。

②年齢を引き上げるといってとだけでなく、必要な部分に絞った制度にしていくべきと考える。

まわる。資格証は保険制度の維持には必要。



市政クラブ  
桑原 圭美

### 教育の平等を目指す 若者支援策を

**答** 教育の経済格差は  
解消すべきと考える

**Q 質 問** 放課後学習、土曜日  
学習の充実を。

**A 市 長** 市でも26年度から取  
り組んでおり、さらに  
充実させていく。

**Q 質 問** 個々の特性を把握し  
た指導の充実と教員の  
増員を。

**A 市 長** 少子化で少人数学級  
が多く、教員の多忙化  
が解消されていない。人事権  
が県にあり、簡単には進まな  
いが、頑張りたい。

**Q 質 問** 子育て支援課と教育  
委員会の連携を。

**A 市 長** 小中高の連絡会や関  
係機関で情報を共有・  
交換をしている。細かいケー  
スにまで対応できるようにし  
ている。就学支援を進める。

**Q 質 問** 教員等の指導力の向  
を。

**A 市 長** 研修講座等を充実さ  
せる。根幹部分であり、  
重要課題として取り組む。

**Q 質 問** 障がいのある生徒に  
対する、適切な進路指  
導を。

**A 市 長** 高等部は作業学習、  
校内・現場で実習を  
行っている。個々の生徒の希  
望が叶うように関係機関と連  
携していく。

**Q 質 問** 経済格差に左右され  
ないキャリア教育の推  
進を。

**A 市 長** 今年は当市の奨学金  
を10人が利用した。市  
の将来を担う教育資金の提供  
は国県の動向、財政上の問題  
を見ながら検討していく。



市政クラブ  
勝又 貞夫

### 行政の運営経費を 削減せよ

**答** 組織をたえず  
見直してゆく

**Q 質 問** 物事はちがうやり方  
をすれば、ちがう結果  
が出る。

業務の外部委託により効果  
を上げている事例も多い。市  
の行政に民間の経営感覚とコ  
スト意識を取り入れ、業務の  
外部委託をさらに進め、経費  
削減に努めるべきではないか。

**A 市 長** 市民サービスの向上  
をめざした行政改革は  
当然である。財政の効率化や  
人員削減による行政のスリム  
化などは、簡単なことではな  
い。行政改革大綱に基づき、  
人件費の削減は進めてきた。

地域の視点から組織がどうあ  
るべきか、たえず見直してい  
くことが必要だ。市の業務の  
民間委託は、今後も検討して  
いくが、そのために市民サー

ビスが低下してはならない。

### 医療再編後の課題は 懸命に努力を 続けている

**Q 質 問** 医療再編は順調に推  
移したと思うが、看護  
師不足により当初の計画通り  
にできなかったところも少な  
くないと聞く。また、魚沼全  
体の医療機関で療養病床が激  
減しているが、今後の推移と  
対応はどうか。

**A 市 長** 基幹、市民病院の開  
院で、施設面で一応完  
了した。ようやく「地域で一  
つの病院」という大きな目標  
に向けてのスタート地点に  
立った。懸命な努力を続けて  
いるが、計画通りではなく、  
基幹病院では9病棟中まだ6  
病棟の稼働で、小出病院の療  
養病床の立ち上げも遅れてい  
る。

療養病床については基幹病  
院も含めて、計画通りの病床  
をそろえなければならぬ。  
今ある医療施設を療養病床と  
して活用できるか考える。



南魚政策研究会  
中沢 一博

### 健康づくりへの 啓発を急げ

**答** あらゆる検討をする

**Q 質 問** 以前の質問で前向き  
に検討するとの答弁が  
あった。その後の進捗状況を  
伺う。

①健康づくりへの啓発推進に  
ついて。医療給付費が伸び  
ている。市民の健康を守る  
ためにも予防や健康づくり  
の動機付けを高める方策の  
一つとして「健康マイレ  
ジ」「ヘルスケアポイント」  
への取組みが重要である。  
進捗状況は。

②子育て・介護の基盤強化へ、  
保育士・介護人材の処遇改  
善が急務と考えるが。  
③公共無線LANの環境整備  
が進んでいないが。  
④空き家対策で、どう有効活  
用できるか。低所得者や高  
齢者・子育て世帯など「空  
き家バンク制度」の早期導



入が強く求められるが。

**A市長** ①健康意識の高揚を促す働きかけがどうすれば効果的に継続的に実施できるか。実施に向けて制度設計を検討する。

②重要な課題である。事業者から27年度の実態報告が出てきたなかで指導・監督をし処遇改善を図りたい。

③外国人だけではなく市民の利便性にも大切である。多く集まる公共施設には概ね完了していると見ている。観光地については国県の補助金を活用し、観光協会と連携した中で推進していく。災害時には通信各社が臨時的に設定し、提供することになっている。

④特定空き家の調査は10月末までに実施し、11月・12月に2次調査に入る。国交省の「空き家バンク」の一元化に向けて登録を準備している。来年度には相談窓口を設けるなど、実施に向けて進めている。



歩む会  
阿部 久夫

**国・県に対しての取組は**

**答** 地方の実像に即した交付税の算定となるよう常に進言する

**Q質問** ①当市の財政は自主財源38.4%、依存財源61.6%と大きく依存財源に頼っている。人口減少や基幹産業の低迷により、自主財源が望めない状況だ。地方交付税算定基準にあわせて財政運営すべきだ。

②市債について、将来見通しと財政状況は。

**A市長** ①以前起債での利率が高い中、現在の利率に戻した。消費税の地方還付の増額を勝ち得た。

②投資的事業に上限を設け、起債額を抑制し財政状況を悪化させない。

③限られた財源を最大に活用する。



新生市民クラブ  
寺口 友彦

**新ごみ処理建設地は公募の3地区なのか**

**答** 公募の場所以外にないわけではない

**Q質問** 新ごみ処理場建設は、ごみ処理のあり方、ごみ処理の方法、メーカーの選定と段階をおって進めるべきだ。平成35年に建築という考えで急ぐべきではない。建設地は公募中だけで決めるのか。二市一町でのごみ処理のあり方を統一が先だ。

**A市長** 環境省の交付金を使うので地域計画を策定が必要になる。そのために建設地決定を急ぐ。平成27年7



月に建設検討委員会を作った。技術面での専門家も入りたい。公募の地は周辺地区もあり、だめであれば他に選定も考える。生ごみのディスプレイに強い思いがある。

**ふるさと納税返礼品実施で保育料の軽減を**

**答** 返礼品競争は制度の主旨逸脱だ

**Q質問** 地方創生総合戦略でも子育て支援は最重要課題だ。保育料軽減・水道料軽減の要望は高い。国は近い将来保育料全額無料にする。それまでのつなぎ資金としてこの納税を使うべきだ。

**A市長** 施策には裏付けとなる財源がいる。この納税の主旨と返礼品は違う。8つのメニューを示して納税希望者を募っている。保育料ばかりではなく負担感は大きく医療費の面で支援はしている。給食費も含めてすべてをゼロにする。社会の基本が崩れる。水道料は福祉減免をそちらに振り向ける選択肢もある。



新生市民クラブ  
佐藤 剛

**財政計画の実効性確保に財政規律の共有を**

**答** 財政規律の明文化までは考えていない

**Q質問** 今後は合併特例の終了と、超高齢化を伴う急激な人口減少の中、限られた財源で新たなまちづくりを進めなければならない。

第2次財政計画が策定され、どうその実効性を確保するかが地方分権の中での生き残りにかかっている。

限られた財源であっても、市民要望に応えられる行政サービスと持続する財政運営ができるものでないか。市の将来像を示した第2次総合計画実現に向けて今後の行政運営は非常に重要だ。

**A市長** 財政規律は、必要に依り起債を抑制することでは否定はしないが、明文化した目標設定は考えていない。しかし第

2次財政計画では、年度の建設改良費は21億円に、新起債の発行は11億円程度に抑えた財政運営を考えている。



歩む会  
牧野 晶

### 井戸規制の方策は

#### 答 条例改正する

**Q 質問** どのような改正を考えているのか。

**A 市長** 中心市街地の空洞化を考えると、これまで規制していた井戸の掘削を今後は認める方向で検討する。

住宅だけでなく事務所や店舗も掘削を認める。だが、大型店舗に関しては水に頼らない除雪をお願いしたいのが本音である。大店舗等には水の再利用や機械除雪の併用もお願いしたい。

六日町の地盤沈下地域の地下水は上流側の塩沢地域からの影響もあるので、市全体で総揚水量の規制をしたい。

地盤沈下は1年間で2センチ、10年間で20センチ以内に取りめたい。

不要なときに水が出ないよう、高感度な降雪感知器の機種指定をするかもしれない。敷地面積の広さでポンプの性能を許可していたが、散水面積で許可を考える可能性もある。

地下水位が15メートルくらい下がった場合には、水位が戻るのに時間がかかり地盤沈下に影響があるので、節水を考えたいが、何らかの方策を考えたい。



日本共産党議員団  
岡村 雅夫

### 今、市民が求める政治は

#### 答 全てに答えたいが難しい

**Q 質問**

①大和病院は療養病床がなくなった。周辺医療が崩壊しないか。

②市民の理解なく焼却炉建設

が進む。建設は候補地で選定か。

③CCRCは国際大学内と理解していたが、公民館周辺か。

④水道料金は近隣市町と同じ半額にし、政策の失敗は一般会計で償還を。

⑤給食費の無料化に向け、半額1.5億円の支援を。

⑥医療・介護・福祉。教育の拡充は人口の流出も減り、発展が望めるので給付型奨学金に取組みを。

**A 市長** ①基幹病院との連携は維持し、移転はしない。療養病床は、対応策を市で計画する。

②市民との対話は必要だ。建設地は近隣区との調整が未了なら行政主導を進める。

③11月には事業者を決定する。国際大学内では交流ができず公民館周辺となった。思い入れのある方が反対したが、商工会の席では若い人たちは反対していない。

④一般会計から繰入をして水道料金を下げることは簡単だが、企業会計では本来そういうことはできない。

⑤家でも食べるのに、補助の

発想が分からない。収入格差を埋めるための負担軽減はしたい。

⑥給付型奨学金は国も進む方向だ。経済的理由には手を差し伸べる。すべてを用意してはできない。



新生市民クラブ  
中沢 俊一

### 地下水条例を緩めるなら調査の徹底を

#### 答 長期間のデータと調査結果がある

**Q 質問**

地下水汲み上げ規制の条例施行より長年が経過した。市長はこの条例を緩和し、市街地の空洞化に歯止めをかけるべく準備を進めてきたが、規制緩和への基礎調査は、まだ十分とは思えない。

①地盤沈下区域における下水道管に対するダメージ調査を、もう少し広い範囲で行うべきではないか。

②大深度の地質調査を早期に

実施するべきと考える。そのデータは、市民が納得できるように、当然公開するべきだ。

**A 市長** 市の地盤沈下については、長期間のデータと調査結果がある。最終的には井戸の掘削を認め、地盤沈下が進まないような方法を考えて行きたい。

①昨年、下水管の調査を行い報告もした。調査結果として、地盤沈下により管渠も沈下しているが、逆勾配になるような影響はほとんどなく、段差や切れた部分もない。

②8月末の対策委員会での、3人の大学教授による検証結果報告では、過去に詳細に調査されており、これ以上の調査は必要ないとのことである。



市道の井戸掘削現場



南魚みらいクラブ  
若井 達男

井口市政12年間で  
省みて

答  
時代新たに  
拓くまち

Q 問  
町議員18年間で、六日町町長1年6か月、そして新市南魚沼市長としての12年間で以下を問う。

- ①合併、新市誕生について。
- ②市長就任と同時に自然災害との戦いの今日までである。災害取組、教育取組はいかに。
- ③財政運営について。

A 市長  
①平成16年に大和町・六日町、平成17年に塩沢町が編入合併し、今の市となった。市民の生命財産を守るを基本とし、医療福祉・産業・教育の振興充実を図る。地域完結型へ向けた姿勢に取り組んできた。

②中越大震災、豪雪、新潟福島豪雨災害は当市に甚大な被害をもたらした。激甚災

害指定を受け対応したが、この教訓は後年に活かしていかなければならない。非常時の財政調整基金の大切さありがたさを痛感した。

市内全ての校舎の耐震強化に取り組んだ。教育課程特例校の認定、教育基本計画の策定、平成27年から後期計画に基づいて進めている。

③広域連合、水道企業団の大きな債務残高を抱えての出発だった。投資しながら成長してきた。スポーツ健康都市宣言は市民の健康そのものである。



## 湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会で 要望活動を行いました

10月17日（月曜日）に4班に分かれ、中央省庁・県庁・長岡国道事務所・北陸地方整備局・信濃川国道事務所などに要望活動を行いました。

### 要望内容

- ①一般国道17号新三国トンネルの早期完成と湯沢町・南魚沼市間の改修整備について
- ②上越新幹線の活性化と新潟空港への延伸について
- ③公共道路等除雪費を経営事項審査の「土木一式」への計上について
- ④国道17号六日町バイパス・浦佐バイパス及び上越魚沼地域振興快速道路「八箇峠道路」の整備推進について
- ⑤東京オリンピック、パラリンピック選手村に「魚沼産コシヒカリ」の採用に関する要望
- ⑥只見線の早期全線復旧について
- ⑦魚野川流域の水害対策について



信濃川河川事務所

## 総務文教委員会 管外調査

○期日 平成28年6月29日・30日

### ○調査内容 ①岩手県盛岡市 公共施設アセットマネジメント手法について

盛岡市財政部資産管理活用事務局より説明いただいた。

アセットマネジメントにかかる取組の背景には、公共施設の老朽化、今後の維持更新費用の増大、少子高齢・人口減少社会の到来といった厳しい財政状況がある。平成21年に着手し、まず自治体経営の指針及び実施計画の策定を進め、自治体経営の柱の一つに公共施設のアセットマネジメントを据えた。計画としてはまず長期・中期・実



盛岡市役所

施の3本の計画でこの公共施設マネジメントを推進していく考え方である。

### ②岩手県紫波町 オガール紫波株式会社

町有地を民間企業の立地・進出に活用させようという公民の連携手法によって、町財政負担を最小限に抑えつつ、必要な公共施設の整備を図るこの計画に基づき21年度から始まった紫波中央駅前都市整備事業を「オガールプロジェクト」と称している。雇用では今オガールの民間エリアで197名の雇用が生まれており、雇用の開拓の期待にもある程度こたえている。26年度の利用者は約67万3,000人でほぼ見込みの数字である。27年度は94万人である。

**Q** 施設の売却収入の基金化について今までの実績は。  
**A** 実績はまだないが、市中にある大きい施設については、億単位の売却益が出ると想定しているので、できれば基金に積み上げていきたい。



紫波町 オガールプロジェクト

**Q** まちづくりの手順については。  
**A** 人がたくさん来るエリアにするため、まず必ず来る人たちをあらかじめ確保する目的で図書館・役場庁舎・フットボールセンターをそのベースとした。

## 産業建設委員会 管外調査

○期日 平成28年7月26日・27日

### ○調査内容 ①奈良県庁

#### インバウンドの取組について

観光局プロモーション課、阿部課長から説明があった。  
奈良県は、海外に向けたブランド・クオリティ（品質）で知名度をあげている。外国人観光客の旅行消費によって地域が潤う観光地を基本方針とし、誘客対象を富裕層よりにしほっている。  
戦略として海外プロモーションの強化、東アジア・東南アジア・欧米に現地営業拠点（海外プロモーター）を配置して、海外旅行者・メディア等に観光セーラース活動を展開している。受け入れ・おもてなし環境の向上の取組として公衆無線LANの整備が課題の一つであり、奈良公園周辺・春日大社・興福寺の一带については無線LANが使える環境に整備した。今後も補助金を出して整備を進める。

**Q** 観光地に對しての指導はどのように行っているか。  
**A** 優秀な先進事例を提示するなど



奈良県庁 インバウンドセールス係

して、民間事業者に生かしてきたい。

### ②大阪府高槻市

#### 間伐材の活用について

産業環境農林課の谷川課長、西川様より説明があった。  
森林資源の有効活用を図るため木質ペレットの生産に加えて、新たに森林整備と連携した間伐材利用による「バイオコークス」製造の事業化を行った。ここで生産されたバイオコークスは、(株)トヨタ自動織機東知多工場に納められている。  
今後の課題は、精密機械製造の燃料に用いられることによる品質基準の厳格化、製造コストの削減と、新たな販売先利用方法の開拓である。

**Q** 当市ではもみ殻が大量に出るが、バイオコークスの材料に可  
**A** 原料を統一して作るのは品質の安定には良いと考えるが、原材料の確保が困難だ。



高槻市議会玄関口にて

## 社会厚生委員会 管外調査

○期日 平成28年7月25日・26日

### ○調査内容

#### ①上越市

**目的** 現在建設中の「(仮称)新クリーンセンター」の新築に至るまでの経緯と、DBO方式(設計・施工・維持管理まですべてを民間が請け負う方式)採用の経緯、そして、2か所の処理場を1か所にまとめたときのごみ収集方法について調査する。

**成果** 上越市自治・市民環境部生活環境課より説明を受け、質疑し、あり方検討委員会、建設検討委員会、建設委員会と3段階で検討してきたことと、ごみ処理の在り方をまず検討し、その後、専門家を入れて処理方式、メーカーを決めたことは大いに参考になる。

建設、維持費を圧縮するため、設計・建設・20年間の維持運営を含めて民間に委託し、競争入札で事業者を選定したことも参考になる。

生ごみは民間会社が収集し、焼却処分は行わない。市民の協力で燃やすごみをできるだけ減らし、運搬経費をかけないシステムも参考になる。

#### ②相模原市

**目的** 長寿命化を図った北清掃工場と建て替えた南清掃工場を持つことになった経緯から、長寿命化の持つ意味合いを調査する。

**成果** 相模原市環境経済局資源環境部清掃施設課より説明をうけ、

質疑を行った。

平成12年、建て替え整備検討委員会を設置し25回の会議を重ね、14年建て替えと決定した。22年3月に竣工した。市職員8名、民間プラント運転会社35名で稼働中である。

平成3年12月、最小の改修費と高効率化の導入で178億円、建て替えて227億円と数字が出たため長寿命化に決定した。26年、長寿命化計画を策定し、33年3月に完成予定である。

新ごみ処理場も長寿命化を併せて検討しながら建設することは参考になった。

#### ③芙蓉苑

**目的** 介護施設の人員不足を補い、職場の魅力を上向きさせることに介護ロボットの役に立つのかを調査した。

**成果** 社会福祉法人同塵会 特別養護老人ホーム芙蓉苑より資料を配布してもらい、デイサービスの現場でロボットを使っている様子も視察し、質疑した。

パルロという人型ロボットは人間の言葉を理解するためコミュニケーション不足に対応できそうだが、職員の人体疲労軽減スーツや位置情報管理ができるシルバーカーなど働く人のサポートができ、導入している若い人たちが介護職に対するイメージを改めてくれる期待が持てる視察であった。

## 産業建設委員会 管内調査

○期日 平成28年6月21日

○調査内容  
渇水による稲作への影響について(含現地調査)

委員の出席状況  
出席8名(全員出席)  
議長 出席

産業振興部農林課、土地改良区他から少雪やこの春の少雨による水不足で作付けができなかった田圃についての説明があった。栃窪地域では貯水量を確認し、その他

図面で作付けできなかった田圃の位置確認を行った。また、吉里地区でも同様の現地調査を行った。

この状況を受けて、担当課と

してはどのように考えているか。

**A** 7月下旬から8月上旬に取水期・出穂期にまた水が必要になる。その時の天候によって、水への対応が必要になってくる。市や県の持っている井戸を利用して、補水対応することが現実的である。

**Q** 少雪による渇水は予想できたはずだが、対応が後手に回っていないか。

**A** 確かに早くなかったことはお詫びする。しかし何もしなかったわけではない。ただ渇水を煽ることにならぬよう、水不足に

## 議員定数調査特別委員会 中間報告

- ・本委員会は平成28年5月16日に開催された臨時会において、設置が決まりました。
- ・委員数は9名です。
- ・目的は、議員定数のあり方を調査して、報告書を出すことです。
- ・4回の委員会を開催し、2名削減の意見が多数を占めたことなどを盛り込んだ報告書を作成することを9月5日の本会議で報告しました。
- ・平成28年12月定例会で議員定数条例の一部改正が行われる予定です。



# 賛否一覧表

賛否が分かれた議案、退・欠席者がいた議案の詳細を表示しています

○=賛成 ×=反対 -=退席 欠=欠席

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります

会派	歩む会				市政クラブ				新生市民クラブ			南魚政策研究会			南魚みらいクラブ					日本共産党議員団			
	笛木晶	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	阿部久夫	勝又貞夫	桑原圭美	腰越晃	阿部俊夫	佐藤剛	寺口友彦	中沢俊一	永井拓三	中沢一博	樋口和人	塩川裕紀	清塚武敏	小澤実	黒滝松男	関常幸	若井達男	田村真一	岡村雅夫
第82号議案	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
第89号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	×	×
第90号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	×	×
第91号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	×	×
第92号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	×	×
第95号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	×	×
第108号議案	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	○	※	○	欠	○	○
陳情第1号	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○
発議第7号	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	欠	○	○	○	※	○	○	○	○

## 平成28年度 南魚沼市一般会計予算

# 討 論

### 原案賛成

(南魚みらいクラブ)

実質収支は黒字になった。市税減の要因は米価下落による農業所得の落ち込みが大きく影響した。大型事業の八海中学校建設、日渡東西線道路改良などは将来の負担軽減、地域の利便性向上につながる。と評価する。地方創生事業のCCRC構想、グローバルパークの取組もスタートした。井口市政の要である一入りを量りて、出を制す」が平成27年度決算に表れたと評価し賛成とする。

### 原案賛成

(新生市民クラブ)

市債発行と公債費償還のバランスなど財政運営で思いを異にする部分もある。魚沼基幹病院、市民病院を中心にした市民の安心安全のための高度な医療再編の形を作りあげたことは、将来への大きな財産であり評価する。また、総合戦略を策定しCCRCやTパーク構想を具体的化させ、人口問題、雇用、定住促進のための第一歩を進めたことも評価し賛成とする。

### 原案賛成

(南魚政策研究会)

27年度の最重要事業の一つである地域医療体制の整備は、大きな前進があった。合併特例債を有効活用しての事業も、着実に進展していることに評価をする。雇用対策、定住促進といった生活現場に目を向けた政策は一定の効果が表れている。今後の市政運営にあたっては、財政の健全化を確保しながらさらなる効果を求め賛成の討論とする。

### 原案賛成

(歩む会)

27年度一般会計決算の実質単年度収支は5億5,002万円の黒字であった。新市になり種を植えた事業が育っている。代表的には大原運動公園や駅前図書館など市民の利用者数も上がり、議会も市執行部も市民福祉の向上を一番に考えている。今後の取組については一輪となつて努めなければならぬ。以上、27年度一般会計決算に賛成する。

### 原案賛成

(市政クラブ)

予算に対し増額補正の決算で、収支は黒字となった。大型事業にかかわる補正のたびに、議会も承認したものであり、賛成である。監査委員からの指摘の通り、税の収入未済額が約12億円あった。市税は収入の約2割を占め、財源の根幹でもある。今後も納税についての指導を願いたい。この決算認定が、本年から始まる第二次総合計画他、あらゆる事業の参考となり、その教訓が反映されることを期待して賛成する。

### 原案反対

(日本共産党議員団)

アベノミクスで格差が増大、諸物価の値上がりで、景気は冷え込み続けている。こうした中、市政は国の悪政から市民を守る防波堤となるべきだ。地域の中小企業、農林水産業を応援する政治への転換をすすめるCCRCは熟慮が必要だ。市政に望まれるのは、生活の安全と安心である。国保税、上下水道料金の引き下げ、子ども医療費拡充、保育料軽減など市民の暮らし応援を求める。

## 平成28年9月定例会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	採決結果
第20号報告	専決処分した事件の承認について (平成28年度南魚沼市一般会計補正予算(第3号))	承認(全会一致)
第81号議案	南魚沼市農業委員会の委員等の定数を定める条例の制定について	可決(全会一致)
第82号議案	南魚沼市モンスターパイプ条例の制定について	可決(賛成多数)
第83号議案	南魚沼市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第84号議案	南魚沼市税条例等の一部改正について	可決(全会一致)
第85号議案	南魚沼市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第86号議案	南魚沼市地下水の採取に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第87号議案	魚沼地域視覚聴覚教育協議会規約の変更について	可決(全会一致)
第88号議案	魚沼地域視覚聴覚教育協議会の廃止について	可決(全会一致)
第89号議案	平成27年度南魚沼市一般会計決算認定について	認定(賛成多数)
第90号議案	平成27年度南魚沼市国民健康保険特別会計決算認定について	認定(賛成多数)
第91号議案	平成27年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計決算認定について	認定(賛成多数)
第92号議案	平成27年度南魚沼市介護保険特別会計決算認定について	認定(賛成多数)
第93号議案	平成27年度南魚沼市城内診療所特別会計決算認定について	認定(全会一致)
第94号議案	平成27年度南魚沼市下水道特別会計決算認定について	認定(全会一致)
第95号議案	平成27年度南魚沼市水道事業会計利益の処分及び決算認定について	認定(賛成多数)
第96号議案	平成27年度南魚沼市病院事業会計決算認定について	認定(全会一致)
第97号議案	平成28年度南魚沼市一般会計補正予算(第4号)	可決(全会一致)
第98号議案	平成28年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第99号議案	平成28年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第100号議案	平成28年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第101号議案	平成28年度南魚沼市城内診療所特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第102号議案	平成28年度南魚沼市下水道特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第103号議案	平成28年度南魚沼市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第104号議案	平成28年度南魚沼市病院事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第105号議案	市道の認定について	可決(全会一致)
第106号議案	公用車事故に係る損害賠償の額を定め和解することについて	可決(全会一致)
第107号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意(全会一致)
第108号議案	財産の取得について(モンスターパイプ造成用圧雪車等)	可決(賛成多数)
第109号議案	財産の取得について(市立八海中学校野球場等グラウンド整備事業用地)	可決(全会一致)
第110号議案	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	可決(全会一致)
議案番号	請願・陳情	採決結果
請願第2号	免税軽油制度の継続を求める請願	採択(全会一致)
陳情第1号	「学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する陳情	採択(賛成多数)
陳情第2号	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する陳情	採択(全会一致)
陳情第3号	南魚沼市所有の駐車場について	不採択(全会一致)
議案番号	議員発議案	採決結果
発議第5号	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する意見書の提出について	可決(全会一致)
発議第6号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	可決(全会一致)
発議第7号	学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書の提出について	可決(賛成多数)

## 議会報告会を開催しました



10月5日 塩沢公民館

10月3日、5日、6日にそれぞれ六日町、塩沢、大和地区で議会報告会を開催し、3日間の合計で100人を超す方々からご参加いただきました。報告会の開催は昨年に引き続き2回目となります。

今回、3地区の共通事項に加え地区ごとの課題についても説明を行いました。その後の意見交換会では大勢の方からご意見、ご要望をいただきました。いただいたご意見は、今後の議会活性化活動に活かしていきます。



10月6日 大和公民館



10月3日 市役所本庁舎

### 南魚沼市議会の政務活動費について

本市議会では、議員1人あたり月額12,000円が半期ごとに会派（所属議員が1人の場合を含む）に交付されています。交付を受けた会派の代表者及び議員は領収書等の証拠書類を添えた収支報告書の提出が義務付けられています。収支報告書は議会事務局にてどなたでもご覧になれます。

## 12月議会 予告

12月に市議会定例会を開催します。

12月12日～22日（予定）

お問い合わせは  
議会事務局（☎773-6650）へ

### 編 集 後 記

9月議会は井口市長最後の定例会となりました。合併新市の融和と市民福祉の向上、財政健全化に努めてきた井口一朗市長、お疲れさまでした。この会報が出るころはだいぶ寒くなってきました。市民の皆さまも体調に気をつけ、来年も良い年になりますようご祈念申し上げます。

編集委員 塩谷 寿雄

### 議会広報編集 特別委員

委員 長	寺口 友彦
副委員 長	永井 拓三
委員	田村 眞一
委員	清塚 武敏
委員	勝又 貞夫
委員	桑原 圭美
委員	笹木 晶
委員	塩谷 寿雄